

教宣 せぶん

株主総会総行動2日目

世論の広がり

「08株主総会1週間総行動」2日目、昼の社前行動から合流しました。本社前の道路には、首都分会組合員所有の自動車はずらっと並べられていました。ドア一面に「東京海上日動社は外勤社員の切捨てをやめよ」「判決や命令に従え」と書かれた会社への抗議の「横断幕」がはられ、道行く人や沿道を通る自動車に、東京海上日動社で行われている経営者の暴挙、事実を訴えていました。行動終了後、この自動車に乗車し本部まで移動しましたが、走行中にも道行く人の多くの視線を感じ、宣伝効果の大きさを実感しました。

東京高裁宛てに集められた団体署名を裁判所に提出しに行きました。今回は245団体、トータルでは4230団体の署名が高裁に届けられたこととなります。1万枚の裁判長宛ハガキとともに、間違いなくこの裁判闘争への私たちの、そして働くものの切実さ、熱意が伝わっています。団体署名を手渡された担当書記官も「重さ」を感じてくれていると思いました。

本社前に戻り、繁華街で道行く人にビラを配り、マイクを持って訴えました。運動の盛り上がりからか、以前に行った社前行動より、はるかにビラの受け取りが良かったと感じました。また、平日にもかかわらず、多くの他労組、他支部の方々が応援に駆け付けてくれ、旗を揚げ、連帯の挨拶をしてくれました。どなたも「このたたかいは最後まで支援する」「共にたたかおう」と発言していただき、大変勇気づけられました。当たり前のように挨拶をいただいている本部役員の方々の尽力も忘れてはいけなかったと感じました。

東京・大阪、2極行動となった2日目の行動でしたが、本部にはビラを受け取った方から勇気づけの連絡が入ったという報告がありました。「ビラを受け取り、会社に抗議の電話をかけようと思うが、電話の相手は社長か、会長か、どちらがいいのだろうか」と関西弁で問い合わせがあり、その後「いま電話をかけた。経営者に『従業員にひどいことをするなと伝えておけ』と言っておいた」という報告までこの方は行ってくれたそうです。世論の広がりを手ごたえとして感じた2日目でした。